

CLUB NEWS

クラブニュース

・本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。[冬号原稿締切：11月20日]
 ・原稿を送る場合の文字数は、最大でも1行19字詰めで50行程度とします。
 ・文字量が多い場合は掲載をお断りすることがあります。

原稿入稿について

- 文字数最大=19字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格
- ☑Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

EVENT

イベント

第3回ACC創立記念 QSOラリー

◇インターナショナルアワードチェイサーズクラブ(ACC) 10-4-139 <目的> ACC活動の活性化、広報、会員相互の親睦 <発行者> ACC評議委員会議長 <発行対象者> 日本国内のアマチュア局、SWL <規約> ACC会員と交信(SWLは受信)し、会員番号の下2桁の合計が「2023」となるようにする。QSLの取得は不要、交信のみで可 ○会員番号の下2桁が「00」の場合は、100。「11.22……」等会員番号下2桁がツロ目目の場合は、1桁のみ2桁のいずれでもカウント(例: JA1QRZ # 2711の場合、「1」または「11」のいずれかでカウント) ○ACCのクラブ局(JN1YMP・JN1ZGI・JI2YZV、JE4YOL)は、1回の申請につき1回限りジョーカーとして、01~99の任意の値としてカウント ※ジョーカーとしてカウントできるのは、1回の申請で1回限り(例: JN1YMP・JI2YZV、JE4YOLの3局と交信しても、ジョーカーとして使えるのは、いずれか1局の1回目のQSOのみ) ジョーカーとして使用した以外のクラブ局との交信は、他の会員局と同様に会員番号の下2桁 ○同一局とは、バンド、モード、運用地が異なっても1日1回限り有効、日が変われば何回でもカウント可 ○申請は、一人何回でも可 ※それぞれの申請間で同一交信を流用不可 ○特記、発行番号は付与しない <交信有効期間> ACC創立月である11月から2ヵ月間(今年は11月1日(水)~12月31日(日)迄) 費500円(定額小為替

または郵便振替口座「00120-5-0764687 長島一仁」へ振込) ○特定申請書またはJARL申請書C(自己宣誓方式)とし、郵送または電子メール 2024年1月31日(水) 〒115-0042 北区志茂1-16-4 JJ1CWX 長島一仁 Eメール: jj1cwx@jarl.com <アワード>申請ごとにアワード(達成証)を送付(デザインは3種類を予定) <その他>申請者の中から、抽選で東北地方の名産品を贈る ○詳細は以下のHP参照「QSOラリー」で検索 https://acc1area.web.fc2.com/qsofarry/index8.html

CONTEST

コンテスト

ACC ロケーターコンテスト 2023入賞者

◇The International Award Chasers Club (ACC) 10-4-139 6月19日(月)~25日(日)実施 丸数字: 順位 【メンバー部門】①JM1ASM ②JR1BQJ/1 ③JL1LNP 【一般部門】①JR1DVB/1 ②JJ1HHJ ③JK1BCH

2023 JAG QSOパーティ & コンテスト

◇ジャパン・アワードハンターズグループ(JAG) 11-4-12 ○一般局同士も有効、コンテスト部門とパーティ部門を分離 ※今年の改正に注意 ○開催時間を24時間に変更 ○コンテスト形式を採用 10月14日(土)12:00~15日(日)11:59JST 1.9/3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz帯 全てのアマチュア局、SWL <参加部門>会員局、一般局を以下の3各部門 ○電話部門 ○電信部門 ○デジタル部門 各部門に別々にエントリー可(最高で3部門) <交信相手> ○会員局・一般局: 全アマチュア局 ○SWL: 会員局、会員局がおこなっている交信の受信 ※同一局の連続受信は不可 <コンテストナンバー> 電信・電話部門: RST+会員番号+M、一般局はRST+001より始まる連続番号 <呼出> ○電話「CQ JAG コンテスト」 ○電信「CQ JAG TEST」、または「CQ JAG PTY」

JARL形式のログ ○サマリー参加部門には以下のように記入 ・コードナンバー欄: 会員番号、一般局は空欄 ・名称欄: (例)「コンテスト・会員・電話」「パーティ・一般・電信」「コンテスト・会員・SWL・電信」等 <得点>「電信・電話部門」①クラブ局JQ1ZPH (JAG#4001) 10点、②会員局2点、③一般局1点、同一局との交信はバンドおよびモードごとに有効 <マルチプレイヤー>パーティ部門を除き、周波数ごとの異なるプリフィックスの数 <総得点> ○パーティ部門を除き、各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチの和 ○デジタル部門: 交信局数×マルチ1(プリフィックス)×マルチ2(GL4桁) <賞>コンテスト部門の上位局に賞状を進呈 <参加証・ステッカー> ○参加者に、QSLカード大の参加証を発行(ハガキ大の封筒が必要) ○QSOパーティステッカー(コンテスト部門参加者にも)を発行。10局以上と交(受)信した書類提出者にステッカーを発行 ○サマリー意見の欄に「参加証希望」「ステッカー希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台紙希望」の何れかを朱書きで記入 ○参加証・ステッカーを希望する場合は、住所・氏名を記入し84円切手を貼った返信用封筒(ハガキが入る大きさ)を同封 ○ステッカーとステッカー台紙の両方を希望する場合は、宛名ラベル(手書き可)と切手140円分を同封 11月6日(月)消印有効 ○郵便: 〒286-0036 成田市加良部4-22-4103 伊南栄治方 JAG パーティ事務局 ○Eメール: jm1atf@jarl.com <その他> ○書類提出のみ(ステッカーなど不要)の場合は、メールによる書類提出を受付。提出先のアドレスまで。ファイルを添付する場合は、txt形式またはcsv形式 ○サマリーシート・ログは、マルチ: 得点欄が空欄でかまいませんが、サマリーシートの交信局数欄は記入

第8回A1CLUB STRAIGHT KEY コンテスト

◇A1CLUB 10-4-145 10月29日(日)15:00~21:00 国内・国外でCW運用可能なアマチュア個人局 ※シングルOPであればクラブ局、ゲストOPも可 3.5/7MHz帯 <モード> CW(A1A) <呼出>「CQ A1 TEST」 <QSYルール> 従来どおり <出力>

200W以下 <使用電鍵>縦振り電鍵またはその代替物に限定 ※代替物とは、すべて手操作にて短点・長点符号を出すものとし単一接点を使用する物(例:パドル・バグ等の片方の接点のみ利用は可) <コンテストナンバー>RST+使用電鍵の名称 <使用電鍵の名称(以下「電鍵名称」)>○英数字のみの組合せで3~8文字。括弧やダッシュ等の記号を使わない ○電鍵名称は創作して構わないが、すべて数字のみは不可。必ず1文字以上はA~Zの英文字を入れる ○電鍵名称がマルチとなる <得点>主催者側で全交信データを照合し、次の要領にて付与 ○ログ提出者同士でコンテストナンバーを照合し、すべて一致:2点 ○ログ提出者同士でコンテストナンバーを照合し、相手が受信ミスあり・自局は受信ミスなし(片方向一致):1点 ○ログ提出者受信データからログ未提出者のマルチ(電鍵名称)を照合して一致:1点 <総得点>各バンドの交信得点の合計×各バンドのマルチ数の合計×S-KEY係数 ※各バンドの交信得点:1交信ごとの得点×R-KEY係数 <S-KEY係数>送出した電鍵名称の文字数により係数を次のように付与 3文字:0.4 4文字:0.6 5文字:0.8 6文字:1.0 7文字:1.2 8文字:1.4 <R-KEY係数>受信した電鍵名称の文字数により係数をS-KEY係数に倣って付与 <賞典>○総得点において総合1~6位 ○エリア賞1~3位 ○ジュニア賞(24才以下)1位 ○周波数別賞1~3位 ○受信スキル賞

■提出サマリー:ログは原則として公式サイトで配布するEXCELフォーマットを利用 ※他のフォーマットの利用はHP参照 <提出方法の注意事項>○サマリー・ログは、必ず添付ファイル ○電子メールの件名はコールサインのみ。移動運用の場合はコールサイン/移動エリア(例:JJ1IZW/4) 11月13日(月)発信・消印有効 a1c_contest@ktm.boy.jp ※紙ログの提出先は公式HP参照 testinfo@a1club.org <結果発表>公式HPに掲載。発表冊子希望者はSASE(サイズは洋形4号か長形3号)と84円切手2枚を同封 <https://a1club.org/contest/>

2023年QRPコンテスト

◇JARL QRP CLUB 10-4-151 11月13日(金/祝)13:00JST~21:00JST ○QRPで運用する国内のアマチュア無線局(JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めている) ※ATT, Power Control等で出力を低減したものも認める ※個人局またはクラブ局を一人で運用するものとする ※特別記念局、特別局(8N, 8J, 8Mで始まる局)は、エントリーされてもチェックログ <交信相手局>QRPで運用する国内のアマチュア無線局 <使用周

波数、電波型式>○1.9~50MHzの各アマチュアバンドでJARL主催コンテスト周波数 ○電信、電話(デジタルモードは対象外) <参加部門>○電信電話シングルバンド部門 種目:各バンド自作機/一般 ○電信電話マルチバンド部門 種目:マルチバンド自作機/一般 ※規約・詳細はHPに掲載 <https://www2.jaqrp.org/contests/>

第40回多摩川コンテスト

◇APOLLO HAM CLUB 10-4-76 11月19日(日)13:00:00~14:59:59 国内のアマチュア局, SWL 50MHz帯(CW:50.050~50.090,AM/SSB:50.350~51.000,FM:51.000~52.000MHz) <部門>流域内電信, 流域内電信電話, 流域外電信, 流域外電信電話, SWL 注1)SWLは流域内, 流域外の区別はしない 注2)個人局と社団局の区別はしない。個人局による参加はゲストOP禁止。社団局による参加はシングルオペレータによるもののみ 注3)流域内:多摩川に接する市区町, 流域外:流域内以外の地域 <コンテストナンバー>RS(T)+市区町等略符号 <市区町等略符号>大田区OO 多摩市TM 世田谷区SE 稲城市IN 八王子市HA あきる野市AN 昭島市AK 羽村市HM 立川市TA 奥多摩町OK 青梅市OU 川崎区KA 府中市FU 幸区SA 調布市CH 中原区NA 日野市HI 高津区TT 国立市KU 多摩区TK 福生市FS 流域外X 狛江市KO <呼出>○CW[CG TA TEST] ○PHONE[CG多摩川コンテスト] <得点>○CW:3点 ○PHONE:2点 注1)同一の呼出符号の局とは全てのモードを通じて最初の交信のみを得点。ある局と最初にSSBで交信し、その局と後刻CWで交信した場合には、SSBの交信を得点計上し、CWでの交信は重複交信 注2)流域外同士の交信も得点計上できる ※必ず全体で1局は流域内の局との交信を含む, SWLも同様に必ず1局は流域内の局を受信する <マルチプライヤー>異なる多摩川に接する市区町およびそれ以外の地域の1マルチ(最大23マルチ) <総得点>得点×マルチ 12月3日(日) JARL形式のものを下記へEメールで提出(JARL電子ログ提出要項に準じる) ※サマリーシートはVERSION=R1.0で ※メール本文にテキスト貼付で(添付不可) Eメール:jk1mgc@nifty.com <その他>各部門優勝者に表彰楯を贈呈 提出先にて <http://apollo.c.ococ.jp/>

第35回 電信電話記念日コンテスト

◇NTT R&Dハムクラブ 11-3-28 10月23日(月)18:00~24:00(ジュニア種目は18:00~21:00) 国内のアマチュア無線局

本国内のアマチュア無線局 HF帯(1.9/3.5/7/14/21/28MHz), V・UHF帯(50/144/430/1200MHz) <部門(コードナンバー前半)>①一般電信(GC**) ②一般電信電話(GX**) ③NTT電信(NC**) ④NTT電信電話(NX**) <種目(コードナンバー後半)>○シングルオペHF(**SH) ○シングルオペV・UHF(**SV) ○シングルオペオールバンド(**SA) ○シングルオペジュニア(**SJ) ○マルチオペオールバンド(**MA) ※4部門×5種目=計20種目,部門③,④はNTTグループ局(オペレータがNTTグループの社員,OB,その家族のみで構成)のみ参加可,ジュニア種目は18歳以下のみエントリー可 <呼出>○電信「CG NTT TEST」 ○電話「CG NTTコンテスト」 <コンテストナンバー>RS(T)+運用場所の下記①~③の電気通信番号のいずれか一つ+N(NTTグループ局のみ) <電気通信番号>①固定電話の市外局番(03など) ②IP電話の電話番号上位3桁(050) ③携帯電話の電話番号上位3桁(070,080,090) ※NTTグループ局が電気でナンバーを送る際、末尾は「/N」と送信 <運用場所変更>電気通信番号が050,070,080,090のシングルオペ局に限り、コンテスト中に運用場所を変更可 <得点>NTTグループ局との交信2点,それ以外との交信1点 <マルチプライヤー>相手局から受信した異なる電気通信番号 <総得点>各バンドの得点の和×各バンドのマルチ数の和 <コンテスト中の禁止事項>○電気通信番号の変更 ○運用場所の変更(電気通信番号が050,070,080,090のシングルオペ局を除く) ○JARL制定の電子ログをWEB提出(推奨),またはEメール提出 ○常置場所以外で運用した局は運用場所のコールエリアをコールサイン欄に明記(複数の場合はすべてのコールエリアを意見欄に列挙),ジュニア種目は年齢を意見欄に明記 11月3日(金/祝) WEB:電子ログ作成・提出支援ツール ○Eメール:denden@jr1yri.sakura.ne.jp <賞>○各種目の上位局に賞状 ○有効な交信局数が10局以上(ジュニア種目は1局以上)の希望する局の中から抽選で副賞(USBIF4CWまたはdigiaid)を贈る。有効な交信局数10局ごとに一口(ジュニア種目は1局ごとに一口)となる抽選口数制。副賞希望局は意見欄に「副賞希望」と明記 <https://www.jarl.com/ntrtd/>

第6回鶴見川コンテスト

◇横浜鶴見クラブ(JA1YJY) 11-1-64 11月5日(日)09:00~11:59 ※移動運用は他者にも十分に配慮した運用で <Hzモード,出力>430MHz帯・FM, CW, SSB ※JARL主催コンテスト

ト使用周波数 ※クロスバンド、レピータ・デジピータによる交信、D-STAR、C4FMは無効 ※出力は50Wまで ※社団局(マルチオペ)での異モード同時交信は禁止。同一時分の異モード交信は無効 <参加対象・参加部門(部門種目コード)>開催日時に鶴見川流域内外で相互に交信可能なアマチュア局を参加対象とし空中線電力5W以下の局はQRP局部門でのエントリーも可 ○鶴見川流域内(RS) ○鶴見川流域内QRP局(RSQRP) ○鶴見川流域外(OS) ○鶴見川流域外QRP局(OSQRP) ※鶴見川流域内:鶴見川の本・支流に接する市区, 鶴見川流域外:流域内外 <呼出>電話「CQ鶴見川コンテスト」+コールサイン+移動局は(/*) ○電信「CQ TM TEST」+コールサイン+移動局は(/*) ※は移動地のコールエリア番号 ※移動局は移動符号(/1)を送信 <コンテストナンバー>○RS(T)+市区略符号 [市区略符号] ○横浜市:鶴見区TS, 港北区KO, 都筑区TZ, 緑区MI, 青葉区AO, 神奈川区KN ○川崎市:幸区SA, 中原区NA, 麻生区AS, 高津区TT, 宮前区MY ○東京都:町田市MA, 稲城市IN ○流域外:上記以外の場所での運用X <得点>完全な電話での交信1点, 電信での交信2点 ※同一局とは電信・電話それぞれ1交信ずつ有効(クロスモードは無効) ※流域外局同士の交信も得点。1局は流域内局との交信 <マルチプライヤー>異なる市区略符号(計14マルチ) <総得点>得点の和×マルチの和 ㊦Eメールのみ受付:JARL推奨フォーマット(R1.0ないしR2.0, 2.1)にて提出のみ有効 ○ロギング, サマリーシート作成はCTESTWIN推奨, 鶴コン用MDファイル(JA1YJY HP等で配布予定) ○参加部門種目コードを記載, ログは添付ではなくテキストで本文貼付 ○メール件名はコンテスト名を全角文字。鶴見川コンテスト(半角スペース) コールサイン(半角大文字) 移動局は(/*) 記載 ㊦11月18日(土) 23:59 ※サーバータイムスタンプにて判断, 郵送不可 ㊦Eメール:ja1yji@jarl.com ※ログ受領後24時間以内に受領メールを返信 ※実際の発信元アドレスへ受領返信。Jarl.comメールアドレスで発信:実発信元サーバーに代理認証登録していないと宛先で迷惑メール扱いとなる可能性あり ※24時間以内に受領返信無き場合は実発信元のアドレスから再送 ※郵送での受付は不可 ○運用場所は1ヵ所とし移動局はサマリーシートに町名まで明記 ※固定局については特に記載のない場合連絡先住所を運用場所 ○移動局との交信でログに移動の明記の無いものは無効(例/1) <情報公開>結果公表にコールサイン, 氏名, 運用場所を記載 ㊦Eメール:ja1yji@jarl.com ※件名の頭に「鶴見川コンテスト」を記載

㊦http://www.ja1yji.com/

第20回三郷マラソン コンテスト

◇三郷アマチュア無線クラブ 13-1-50 ㊦10月21日(土)00:00~11月3日(金/祝)24:00 ㊦すべてのアマチュア無線局 <部門>○市内局部門:三郷市内に在住する局, 三郷クラブメンバー局 ○市外局部門:市内局部門以外の局 ㊦ワークバンドを含むすべてのアマチュア無線バンド・すべてのモード <得点>○三郷クラブメンバーとの交信は, 三郷市内局と同等 ○三郷市内で運用する局と三郷市内で運用する局との通常の交信を2点 ○三郷市内で運用する局とその他の地域で運用する局との通常の交信を1点(三郷市外で運用する局同士の交信は無効。同一局との交信は, 交信日もしくはバンドが異なれば有効) <備考>複数の運用場所からの交信も有効 ㊦JARL制定のサマリーシート, ログシートに準じる ※Eメールによる電子ログも可 ㊦11月17日(金)必着 ㊦〒341-0021 三郷市さつき平1-4-1-102 高橋収宛 ○Eメール:ja8nnt@jarl.com <表彰>期間内における得点の合計により, 部門ごとに順位を決定し, 上位者を表彰 ㊦ログ提出先へ郵便, Eメール, HPの「なんでも掲示板」へ(http://www.jarl.com/misato/)

第24回全日本CW王座 決定戦コンテスト

◇CW友の会 13-4-51 ㊦11月5日(日)12:00~16:00(JST) <種目>7MHzシングルバンドのみ(個人, クラブの区別なし/パワアの区別なし) <モード>CWのみ <呼出>「CQ CW TEST」 <交信相手局>日本国内の局は国内および国外の局, 国外局は日本国内の局に限る <コンテストナンバー>RST+CW運用可能となった従事者免許年(西暦)の下二桁+キーの種別 例)RSTが599, あなたの電信が出られる従事者免許が1989年, ストレートキーで参加:59989S 例)RSTが599, あなたの電信が出られる従事者免許が1995年, バドルで参加:55995X <マルチプライヤー>CW運用可能となった従事者免許の取得年(西暦)の下二桁 例)1989年:89, 1960年:60, 2000年:00 <キーの種別>S:ストレートキー, X:ストレートキー以外での参加者(バドル, バグ, コンピューターキーボード等すべて) <得点>交信相手がストレートキー使用者(S):2点, それ以外の使用者(X):1点 <得点係数>ストレートキーでの参加者は×13, ストレートキー以外での参加者は×10 <総得点>得点合計×マルチプライヤー×得点係数 <電鍵変更について>コンテスト中に電鍵を変更した場合, 得点

係数は10で計算 ※ストレートキーから別のストレートキーに変更した場合を除く<その他>JARLコンテストに準拠 ㊦○サマリー, ログシート共にJARLコンテストフォーマットに準じる ○電子ログ提出は, JARL形式, ZLOG形式, キャリブロ形式の3種類 <入賞賞品>1位~3位(賞品はコールサイン入りのオーナメントを予定) <結果発表>本HPにて順位リストを公開。郵送で結果を知りたい方は, 返信封筒を同封(返信封筒には, 住所, 氏名を記入, 84円切手を貼る) ㊦郵送:〒340-0823 埼玉県八潮市古新田237-15 小澤清次/JR1UFB ㊦jo1zrw@gmail.com Eメールで電子ログ提出をされた局には受付の自動返信, 2日以内に返信が届かない場合には必ず上記アドレスまで問合せ ㊦11月30日(木)

第42回京都アクティブ コンテスト

◇京都2mSSBersグループ 22-4-22 ㊦11月1日(水)00:00~11月10日(金)23:59 ㊦144MHz帯 SSB <参加部門>○メンバーの部 ○一般局の部 <交信方法>○通常のQSOでRSレポート ○市郡名(京都府内は市区町村名)の交換 ○当グループのメンバーはM(メンバー)を送る ○同一免許人による呼出符号の使用は2つを限度とする ○ローコール中の交信は無効 ○ログシートへの得点計上は1局1交信のみ有効 ○期間中の同一都道府県内での交信が有効 ○京都府外局が, 京都府内での移動運用でおこなった交信は有効 <得点>○メンバー局:15点 ○京都府内局同士:10点 ○京都府外局同士:1点 ※京都府外から京都府内へ移動しておこなう運用は, 京都府内局<マルチプライヤー>①運用日数(最高10日) ②京都府内の14市(京都市を除く)10町1村と京都市内11行政区(合計36市区町村) <総得点>得点合計×マルチ①+マルチ② ㊦○電子ログまたはJARL様式のログ・サマリーシート ○JARL電子ログフォーマット, またはEXCEL形式のファイルを, CSV等TXT形式に変換した内容をEメール本文中に記載 ○添付ファイルの場合は, ログ・サマリーをPDF形式, 画像形式に変換したもののみ可 ※HTML形式は不可 ○Eメールの件名「提出者のコールサイン+KT2mSSBTEST」 ○100局以上交信の申請には, チェックリストを添付 ○ログシートの送・受信欄には, RSレポートと市郡名(※京都府内は市区町村名)を記入 ○ログシートのマルチプライヤー欄は2つに分け, マルチ①には日数マルチ, マルチ②には市区町村名を記入 ○申請は10局以上 ※当グループのメンバーを1局以上含む ㊦12月10日(日)消印有効

<表彰>○一般局の部：3位まで ○メンバーの部：3位まで ※結果希望者はEメールアドレスをサマリーに記載 ㊦○〒620-0940 京都府福知山市駅南町1-237 萩原重昭 (JG3GOM) ○電子ログ：jg3gom@jarl.com ㊦申請先へSASEかメール <失格事項>○ログシートに記載された中で、交信局数の重複率が2%を超えて計算されたもの ○特別記念局、記念局、社団局との交信が得点計上されたもの ○虚偽の交信記録が記載されたもの ○JARLコンテストの規約に準じる<その他>本コンテストにログを提出すると、4月におこなわれる3エリアコンテストのBマルチにカウントできる ※参加賞は廃止

第35回羽曳野コンテスト入賞局

◇羽曳野無線クラブ 25-1-40 ㊦4月15日(土)7MHz、15日(日)50MHz、144MHz実施 総参加部門局数106局、参加局数88局 丸数字：順位、()内：得点、◎：3エリア外1位 [電信電話] ○7MHz部門：参加69局 ①JE3VRJ (18020)、②◎JS2GYN (14220)、③JA4MSM (10800)、④JH3DMQ (9750)、⑤JA3PYH (9360)、⑥JF2FIU (7684) ○50MHz部門：参加13局 ①JA3QOS (1323)、②JQ3CQT/3 (533)、③◎JJ5AKK/5 (48) ○144MHz部門：参加24局 ①JA3PYH (5054)、②JK3DDU/3(4624)、③JR30WV(3360)、④◎JN2JBN/2 (3116)

第41回和歌山2mSSBコンテスト

◇和歌山2mSSB愛好会 26-4-22 ㊦10月1日(日)～7日(土) ㊦国内のアマチュア個人局 ㊦144MHz帯 SSB <得点>通常のQSOにてコールサイン・RSレポート・QTHの交換が完全なもの ※当会々員はメンバーのMを付ける ○当会々員との交信：5点 ○和歌山県：3点 ○和歌山県外局：1点 <マルチプレイヤー>○マルチ1：交信した和歌山県内の市、郡、和歌山県を除く都府県支庁 ○マルチ2：運用日数 <総得点>得点合計×マルチ1×マルチ2 <表彰>2024年定期総会にて、会員の部1位～3位飛賞、一般の部1位～3位飛賞 ※一般の部参加の方で、結果希望の方は84円切手同封 ※参加記念品の方は84円切手3枚同封 ※一般の部1位～3位入賞の方、和歌山特産品進呈 <その他>○8月31日まで会費納入局をメンバー扱い ※メンバー希望の方は問合せ先に ○移動運用は同一府県内 ○同一局との交信は一回のみ有効 ○コンテスト期間中の運用は同一コールサインとし、同一人が2以上コールサインを有する方との交信はいずれか一方。判明し

た場合は無効 ○ローコール中の交信は無効 ○提出ログ等はJARL制定のコンテストログサマリーシート同様様式 ○重複交信を確認したチェックリスト不要、重複があればそのページ無効 ○同得点の場合は最終交信時間の早い方を上位 <失格事項>○重複3%以上、電波法違反した場合、虚偽の申請と認められる場合 ○異議申し立て等はJARLコンテスト規定に準じる <ログ記載方法>○送信欄は、貴方が相手に送ったコンテストナンバーRS+和歌山県内局は市・郡名、和歌山県外局は府県名+メンバー局はM ○受信欄は、貴方が相手から受取ったコンテストナンバーRS+和歌山県内局は市・郡名、和歌山県外局は府県名+メンバー局はM ○郵送で到着確認希望の方は返信用はがき同封(通常はがき63円、定形郵便物84円) <Eメールで受付諸注意>○件名に「2mSSB」の文字を必ず入れる ○JARLコンテスト電子ログ作成ツールを利用ください (http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm) SUMMARYSHEET VERSION = R1.0 (URL…http://contest.jarl.org/summarymaker_r1.htm) ※添付ファイルは不可 ㊦10月31日(火)当日消印有効 ㊦JF3NIM 田中将夫 〒642-0001 海南市船尾237 <TEL・FAX>090-3616-9383 ㊦jif3nim@jarl.com ※このコンテストに参加しコンテストログを提出した局は来年4/1～4/7開催「3エリア2mSSBコンテスト」のBマルチに加点できる。同一バンドモードで何度も交信しカード交換を済まされている場合必要以外のカード交換を自粛しよう

第30回2mSSBグループ福岡マラソンコンテスト

◇2mSSBグループ福岡 40A-1-21 ㊦10月9日(月/祝)00:00～10月15日(日)24:00 ㊦日本国内のアマチュア局 <交信局>国内アマチュア無線局(記念局を除く) [Hz・モード] 144MHz SSB <参加局の区分>○A区分：会員局の部(2mSSBグループ福岡の会員) ○B区分：6エリア管内で運用の一般局の部 ○C区分：6エリア管外で運用の一般局の部 <呼出>「CQ福岡マラソンコンテスト」 <コンテストナンバー>○会員局：RSレポート+M(メンバー) ○一般局：RSレポート <得点>○一般局が会員局と交信をした場合：5点、その他の交信：全て1点 ○コンテストナンバーが完全におこなわれた交信で、毎日00:00JST～24:00JSTの間の交信は得点 ※日付が変われば、新たな交信とし得点 <マルチプレイヤー>交信日数 <総得点>交信で得た得点の合

計×交信日数 <表彰>①A区分会員局の部：1～3位 ②B区分6エリア管内一般局の部：1～3位 ③C区分6エリア管外一般局の部：1～3位 ④DX賞(最遠距離交信局の交信距離をログに明記) ※同日・同一移動地の運用については、代表1局のみの申請 ⑤同得点の場合、最終交信日時早い局を上位 ⑥ログ提出局はHPへ掲載し、入賞局は総会にて表彰 ⑦ログ提出局のうち、①②③各部門7位の局には記念品を進呈 <禁止事項>○異なるモードとの交信 ○クロスバンド交信 ○指定された周波数外での交信 ○ローコールでの交信 <失格事項>○規約違反 ○提出書類不備 ○虚偽の記載 ㊦JARL制定のサマリーシート、ログシートでメール申請を基本(PDF不可)。郵送は手書き ㊦10月31日(火)必着 ㊦事務局 〒800-0218 福岡県北九州市小倉南区沼新町2-6-14 平田利彦 ☎090-1088-2518 ㊦jg6mfd@jarl.com

第46回オール旭川コンテスト入賞局

◇ハムラジオ大雪クラブ 01A-1-1 ㊦6月10日(土)～6月11日(日)実施 丸数字：順位 ○HF部門：①JA8COE ②JR6KBF/6 ③JA4MSM ④JM8SMO ⑤J5AKK ⑥JR2AWS ○VUHF部門：①JH8XTE/8 ②JA8IBU ③JG8GHL ④JA8KGG/8 ⑤JH8PBN ⑥JR30WV ○ALL部門：①JA8RUZ ②JH8PBM ③JK8PBO ④JG8LOL ⑤JR6CSY ⑥JG60ZC <ログ提出数>175局 ㊦<https://asahikawaccontest.jimdofree.com/>

2023年十勝クラブコンテスト入賞者

◇十勝アマチュア無線クラブ(JA8YAD) 01E-1-1 ㊦5月20日～21日 実施 優勝：① 準優勝：② 3位：③ 【管外】 ○7MHz：①JA7DY ②JH7KSU ③JI7FBM ④JI7VQP ○21MHz：①JR8FNO ②JI1NZA ③JH4FUF ○50MHz：①JR30WV ○145MHz：①JA8KGG/8 ○430MHz：①JA8IBU ○マルチ：①JG1CFO ②JR6CSY ③JK8PBO 【管内】 ○7MHz：①JH8KX ②JA80XB ○21MHz：①JE8CXM ○50MHz：①JE8PZN ○145MHz：①JG8MQL ②JR8XGM ③JI8AAJ ○430MHz：①JA8XCV ○マルチ：①JE8UHY ②JA8WFO ③JR8PJQ/8



ETC.
その他

コンテストログソフト講習会

◇三郷アマチュア無線クラブ 13-1-50
時 11月11日(土) 14:00~16:00
場 三郷市立瑞沼市民センター 埼玉県三

郷市上彦名870 11月10日(土)
Eメール: jl1iia@jarl.com HP:「なんでも掲示板」(<http://www.jarl.com/misato/>)

QSP

会員の情報広場

本欄は、JARL会員の皆さんのおこなう行事等を掲載しています。(原稿ご送稿の文字数などは、クラブニュース欄と同様です)

イベント

「モールスチャンネル」主催 第1回初級CW講習会

YouTube配信中の「モールスチャンネル」が初心者を対象に講習会をおこないます
<対象>欧文符号は覚えただけ、実際の交信をする自信がない方 時 10月8日(日) 14:00~16:00 場 京都市右京ふれあい文化会館 ☎075-822-3349 (代) JR嵯峨野線 花園駅下車 徒歩約5分 <定員>10名程度 費 300円 当日会場で徴収(おつりのないよう) <駐車場>会館に有料の駐車場あり <その他>○筆記具を持参 ○食品の持込は禁止。飲み物は各自で準備 申 じ3icy@jarl.com メールタイトルは「講習会参加希望、ご自分のコールサイン」とし、名前・コールサイン・所持資格・連絡先電話番号をお書きのうえ、上記宛にEメール。追って連絡します

コンテスト

第2回京都古都コンテスト

◇アマチュア無線クラブ京都(JL3ZOA) <呼出>「CQ 京都古都コンテスト」時 10月8日(日) 00:00~15日(日) 24:00(JST)まで [Hz・モード] 144MHz帯 SSB 国内の個人アマチュア無線局 ※クラブ局(JL3ZOA)との交信は有効 <交信方法>○京都府内・メンバー局:RS+市区町村名+M 一般局:RS+市区町村名 ○京都府外・メンバー局:RS+M 一般局:RS ※京都府内の市区町村名は、JCC/JCGコードでも可 ○同一局の日替わり交信有効 ○京都府内の市区町村にて運用地が変われば同一日に同一局との交信有効 注 ○ロールコール中の交信無効、JL3ZOAを除くクラブ局、記念局の交信無効 ○同一人の複数個人コール使用不可、本規約に違反した場合失格 <交信得点>メンバー局:5点 JL3ZOA:10点

一般局:1点 <マルチプライヤー>①日数マルチ(最大8日マルチ) ②QTHマルチ:京都府内の14市(京都市除く)10町1村と京都市内11行政区(最大36マルチ) ③プリフィックスマルチ:異なったアルファベットの数(JA~7N)の最大22マルチ <得点計算>合計得点×(①日数マルチ+②QTHマルチ+③プリフィックスマルチ)=総得点 <表彰>上位入賞1位~3位、飛び賞10位20位30位、BB賞、エリアTOP賞 申 ○JARL制定ログ、サマリーシート準拠 ○郵送での紙申請:下記紙申請先宛。交信局数が100局以上超える場合は重複チェックリストを提出 ※重複チェックが見つかればそのページは除外 ○Eメールでの申請:エクセル形式またはPDFファイル可能 ※申請局数は30局以上 申 ○電子申請:kyoto.koto.contest@gmail.com ※件名の欄に自局のコールサイン記入 ○紙申請:〒615-8151 京都府京都市西京区榎原杉原町17-7 谷口秀次(JQ3BLX) 11月15日(水)当日消印有効 申 Eメール:kyoto.koto.contest@gmail.com ☎090-1804-8495 (JQ3BLX 谷口) <結果発表>アマチュア無線クラブ京都のHPで発表 申 <https://www4.hp-ez.com/hp/club-kyoto/page9>

第5回サバイバルマラソン コンテスト

◇サバイバル・ハムクラブ(JL3YYK) 時 11月10日(木) 00:00~20日(日) 23:59迄 144MHz SSB <参加部門>○メンバー部門 ○一般部門 <交信方法>通常のQSOでRSレポート・市、郡名(市・郡ナンバーでも可)が完全なもの ○一般YL局との交信は、RSレポート後に必ずYLをつける ○サバイバルのメンバー局(MYL局も含む)は、RSレポートの後にM(メンバー)をつける <得点>当クラブメンバー局との交信は()内得点 QSO一局につき ○OM局:1点(20点) ○YL局:10点(30点) ○サフィックスが2文字コール:10点(30点) ○サフィックスが2文字でダブル

コール:20点(40点) ○トリプルおよびサンドイッチコール局:20点(40点) <マルチプライヤー>コンテスト期間中の運用日数(最大11日) <総得点>交信局数×得点合計×運用日数 <禁止事項>各クラブのロールコール時の交信:クラブコールと特別記念局等との交信は無効 注 ○期間中1局は1回のみカウント ○申請者の移動範囲は、日本国内、自由 ○当メンバー局、YL局、トリプル、ダブル、サンドイッチ局、2文字局は必ず朱書き。1点の局以外は、得点を含めて一行を必ず朱書き(マーカーで色づけするか、赤線を引くことに可) ○申請用紙はJARL様式のコンテストログ、サマリーシートを使用 ○コンテストログの送信欄に自局の運用地(市・郡ナンバーでも可)受信欄に交信相手局の市、郡名(市・郡ナンバーでも可)を必ず記入 ○異議申し立て等はJARLに準拠 ※バンドプラン改正の為、期間中新基準適合での運用。当クラブより144.150以上の運用を推奨 <劣化>電波法違反、提出書類の虚偽記載(架空の交信等) 申 ○Eメール:当クラブ推奨専用ソフト使用のみ受付可 件名に「SHC」と(貴局の)コールサイン ○郵送書類申請:JARL様式以外の申請書類は受付不可 <参加資格>日本国内のアマチュア個人局で、交信局数が20局以上 申 12月10日(日)当日消印有効 <発表>当クラブのHPにて発表 <参加賞>コンテストログ提出者のうち、未使用の切手300円相当(厳守)を頂いた方に参加賞、飛び賞、他を贈呈 ※当クラブHPで詳しく案内 <その他>○コンテスト規約とメンバーリストの希望者は下記まで ○コンテストソフトは当HPからダウンロード 申 <http://jl3yyk.sakura.tv/> 申 JL3YYK サバイバル・ハムクラブ コンテスト実行委員 〒636-0226 奈良県磯城郡田原本町唐古237 JK3HYS 戸田武伸 ※問い合わせは12:00~20:00 ☎0744-32-8824 090-9047-0990 jk3hys@jarl.com

第15回

FCWA CW QSOパーティー

◇福島CW愛好会(FCWA) <目的>○CW交信の活性化を図り各局との交流を深める ○JA7SSB 齋藤醇爾氏の功績を称える 時 12月2日(土) 9:00~21:00(JST) 国内の個人局 [Hz(モード)] 1.9MHz帯~28MHz帯(10/18/24MHz帯を含む)CWのみ

<参加部門>①一般部門(出力は局免範囲内) ②QRP部門(出力5W以下) <呼出>CQ FQP(通常の交信可) <交換ナンバー>RST+オペレーターネーム(例:599KAZU) <交信相手>全世界のアマチュア局 <得点>RSTとオペレーターネームが交換された完全な交信1点 ※バンドが異なれば同一局でも得点 <マルチプレイヤー>なし <総得点>各バンドの得点の和 ㊦○JARL形式の電子ログをメールに添付して提出(件名はコールサイン)、様式が同じであれば、エクセル、ワードなどで作成した電子データも可 ○郵便で提出する場合、JARL制定のサマリーシート、ログシート(準拠書式可) ㊦○〒966-0108 喜多方市熱塩加納町相田字大森乙1246-152 畠恵治(JH7UBC) ○Eメール:jh7ubc@jarl.com ㊦12月31日(日)消印有効 ㊦jh7ubc@jarl.com <結果>ログ提出者

と結果はFCWAのWebページに発表 ㊦ <http://fcwa.html.xdomain.jp/> <表彰>一般部門は上位5局、QRP部門は上位3局をFCWA総会時に表彰。同得点の場合は、交信終了時間の早い者を上位

ETC

BY7WGL 開局35周年記念 訪問団員募集

◇BY7WGL開局35周年記念訪問団 ㊦ 熊本のハム仲間がJARLの協力で中国桂林市にアマチュア無線局(BY7WGL)を開局して2024年11月4日で35周年になります。これを記念して式典に出席し、桂林のハム仲間と交流をして金木犀の薫りが残った秋の漓江下りを堪能しませんか? 中国でのコロナ政策の対応が未定ですが、計画(4泊5日)を進めたいと思います。香

港・ソウル・上海・台北経由のうちどれかを考えています(前回までは香港・ソウル・上海の3ルートで実施)。各航空会社の運行スケジュールは、今のところ福岡と台北・香港・ソウルの路線のみ。各中継空港から桂林までが運休中。運航が決定したらメールでお知らせします ○BY7WGL運用希望者(2アマまたは同等以上)は、これまでは有効期間が2年間でしたが今は6ヵ月間に短縮されています ㊦電子申請:申請書類を各自記入してCRACに送付 ○申請方法・書類等はCRAC HP ※分からない場合は資料をメールに添付して送付(申請料は無料) ○参加希望局はコールサイン・氏名・メールアドレス等をお知らせください。決定次第お知らせします ㊦JA6RMR(中塚信一) Eメール:ja6rmr@jarl.com 〒860-0017 熊本市中央区練兵町43 FAX:096-284-5580

QSOの際には、コールサインを忘れずに送みましょう

144MHz帯や430MHz帯に出没する不法無線局は相変わらず多く、業務に関する通信、バンドプラン無視やレピータへの妨害などをおこなっている事例が総合通信局やJARLに数多く申告されてきているのが現状です。

一方、アマチュア無線家の中にはV・UHFバンドでコールサインを言わないで交信している局が多数いて、交信をワッチしても、正規のアマチュア局か、免許を受けてない不法無線局なのか判断できない場合があります。

このような状態は、不法局側にとってみれば極

めて好都合であり、免許を受けないで不法運用をする者にとって居心地のいい電波環境であり、不法運用の温床になっていくとさえ言うことができます。

コールサインの送出は、無線局運用規則でも義務付けられている当然のことですが、QSOをする際には必ずコールサインを送出することを励行し、不法局が住みにくい、電波を出にくい電波環境にしましょう。

不法局が出にくい
電波環境を
作ろう!

■電波は譲りあって使いましょう

アマチュア無線の運用を開始する際には、運用を開始する周波数で、他の局が運用をしていないか十分に確かめるのは当然として、自分の電波が他の無線通信に混信や妨害を与えないように、十分に注意しながら運用することが必要です。

アマチュア局の中には弱い電波の局もあれば、自分の受信機では単なる雑音としか聞こえない特殊な電波型式で運用している局もありますので、常に他の局に迷惑をかけることのない運用を心がけましょう。

■SSBモードでの運用について

アマチュア無線家の皆様の中には、日頃はFMモードによる運用が中心の方々も多いと思います。

SSBモードでのアマチュア無線の運用は、全世界的に3.5/3.8/7MHz帯ではLSB(下側波帯のSSB)、14MHz帯以上の周波数帯では、USB(上側波帯のSSB)を使用するという長年の国際的な慣習があります(衛星通信ではダウンリンクがLSBになる場合があります)。特にHF帯で運用される場合、LSB/USBの切り替えを忘れないように十分にご注意ください。